

交通拠点整備基本構想検討業務  
第 3 回 沖縄市交通拠点整備基本構想検討委員会

日時：令和 5 年 11 月 30 日（木）10:00～12:00

場所：沖縄商工会議所 2 階

■商店街アーケードに関する意見

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
<p>沖縄市 一番街 商店街 親川委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アーケードが老朽化しているため、パースイメージ通りのものが出来るのか懸念がある。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画段階が進むにつれて意見を伺いながら検討を進めたい。</li> </ul>
<p>沖縄商工 会議所 比嘉委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デメリットについて、アーケード老朽化と考える。バスタ事業で取り壊しの際に、アーケードは対象となるのか。全面取り壊しの費用負担が商店街となると非常に大きなデメリットとなるのではないか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国道部分は国負担となるが、今後対象とならない部分をどうするかは検討が必要である。</li> <li>・ 市は案②の方で進めていくため国と調整しているが、具体的な位置、規模感は決定ではない。</li> <li>・ 今年度具体化していくが、規模感等はエリアが設定され、そこから支障等の物件の話になるため、まだ少し先の話と考える。</li> <li>・ アーケードの懸念については、課題として認識し、計画が具体化していく中で何が出来るか対策を考えていきたい。</li> </ul>
<p>池田 委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アーケードは商店街でも大変問題になっていると考える。バスターミナルと関連する部分は補助金の可能性があるという理解である。</li> <li>・ 情報提供として、那覇市は独自でアーケードの建て替えの補助金制度が整備されている。市が単独ですか、国の助成を仰ぐかになる。また、沖縄市は中心市街地活性化法の適用を受けている県内唯一の自治体なので、中心市街地活性化法を使っての補助金もあり得るのではないか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活用できる補助金制度も含めて、計画が具体化していく中で何が出来るか検討していきたい。</li> </ul>

■交通結節点に関する意見

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
池田 委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伊佐の交差点から胡屋も重要な路線ある。基幹バス構想が骨となり、コザ・胡屋のバスターミナルも拠点となる。</li> <li>・ 一方で、北谷も観光を中心とした交通拠点構想があるため、伊佐と全体の結節点、北谷の観光中心とこれ結び付ける必要があるとして記事の委員会で発言を行っている。今後検討の中で出されると考える。</li> <li>・ 資料 3、16 ページ、交通結節点の配置のイメージに断面図について、地先活用として店舗の滲みだし・樹木設置などがあるが、人の交通、バスの利用者を含め、利便性の障害とならないよう配慮いただきたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域住民と調整しながら、障害とならないよう検討を進めたい。</li> </ul>
バス協会 慶田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上り側（那覇向け）方面にもターミナル機能が必要ではないか。資料 3 の案①、②とあるが、決定していないということか。</li> <li>・ 是非、案②の方で整備計画を立てて頂いて効果的な連携ができるような整備をして頂きたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員の意見も踏まえ、案②で検討を進めたいと国と調整を行っているところである。</li> </ul>
胡屋 大通り会 普久原委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元の胡屋大通り会としても案②の方で是非進めて頂きたい。</li> <li>・ また、案①でしかできないという時でも、地域の再開発等との整合を考えると、早めの意思決定が必要である。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 案②の要望があるため、国の方に強くプッシュしていけるよう取り組んでいきたい。</li> </ul>

<p>沖縄県 ハイヤー タクシー 協会 大城委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料 3、33 ページ、交通拠点が通過の交通拠点だからどうしても上り下りの両方欲しいというのは出てくる。</li> <li>決定ではないということで、案①になる可能性も想定されるがその場合でも、那覇向け側には、バスエリアに屋根付きバス停、歩道を拡幅してベンチ設置や、上りの滞留空間、バス停等も含めた部分を充実させる必要があると考える。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>案②を基本として考えているところであるが、交通結節点として滞留空間や歩道空間の確保、休憩施設の整備等は検討していきたい。</li> </ul>
<p>沖縄市社会 福祉協議会 上原委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和 5 年度の取り組み内容の中で、交通結節点および周辺機能の配置の中で、利用者の利便性という形で高齢者、障害者の方々が誰もが利用しやすいような交通結節点機能を持たせるとすることも検討して頂きたい。</li> <li>高齢者、特に車いすの方、聴覚障害、視覚障害等の方々も含めて利用しやすい機能を是非持たせて頂きたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バスターミナルの計画の国のガイドラインで、人中心の空間づくりの推進として、バリアフリー化も盛り込まれているため、誰でも使いやすいバスターミナルを検討していきたい。</li> </ul>
<p>沖縄県 交通政策課 (代理) 大城班長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄市のバスターミナルは将来的には路線再編にもつながる重要なものである。県としては乗り換えしやすいよう乗継割引なども行って、来訪者を増やしていくことが理想である。</li> <li>起終点となる場合は、運転手の休憩所や待機所も含めて考えないといけない。終点としてのターミナルづくりも重要ではないかと考えている。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バスターミナルに必要な機能に付いて関係者と合意形成を進めていく。</li> </ul>

■ 駐車場に関する意見

<p>沖縄市一番街商店街親川委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際カーニバルのアンケート等で駐車場を増やしてほしいという意見がある。これとは別に車に依存しないまちづくりというのがあって、これをどう市民の意識を変えていくか。利便性を向上させれば車の利用も少なくなるのではと考えるが、その整合をどうするのか。</li> </ul>	
<p>池田委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料 3、24 ページ、アンケートの調査の結果で、駐車場が67.6%と非常に要望が高い。これまで駐車場についてほとんど触れてないが、バスターミナル構想と駐車場の連携についてどのように考えているのか。</li> <li>駐車場だけ作ればいいのではなく、乗り換えシステムが重要だと考える。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場のニーズは把握している。今回のバスターミナルについて、公共交通利用が促進されれば、駐車場はいらなくなると思うが、現時点では難しいと考えるため、駐車場も含めた検討を今後進めていきたい。</li> <li>市は循環バスに取り組んでいるため、子供達への利用促進や、沖縄県のわたったーバス党による PR 等、公共交通利用促進を進めていきたい。駐車場との連携を念頭に検討を進めていきたい。</li> <li>バランスが重要であると考え。車が便利のため過度な依存になっているが、車以外も使う選択肢を積み上げていけたらと考える。</li> <li>公共利用交通促進のマネジメントについて、市民に訴えていけるか検討を進めていきたい。その中でどれだけ駐車場が必要なのかということも、具体的な数字等も踏まえ検討していきたい。</li> </ul>
<p>沖縄市一番街商店街親川委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場のニーズについて、どのような利用形態の人が求めているのかも含めて、整理して頂きたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場の利用目的も含めて今後検討していきたい。</li> </ul>

■その他の意見

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
<p>胡屋自治会 島袋委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄タイムス（11/30）に記載されていた県の地域公共交通計画北谷の観光交通拠点について、沖縄市が進めている交通結節点と整合性があるのか。</li> </ul>	<p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料 3、4 ページ、県の構想で基幹バス構想があり、伊佐から沖縄市に向かう構想の上で、沖縄市のバスターミナル構想が位置付けられている。</li> <li>沖縄市では、4 ページを基本に、沖縄県、国と 3 者で進めている。</li> </ul> <p>（沖縄県交通政策課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北谷では、観光拠点（レンタカー等）としての取組が位置付けられたものである。</li> <li>基幹バス構想は、那覇～沖縄市間を結ぶ軸として、しっかりと取り組みを進めている。</li> </ul>
<p>沖縄市 観光物産 振興協会 島袋委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遅れたため再質問になるかもしれないが、沖縄タイムス（11/30）記事について、市の計画との整合性、変更などはあるのか。</li> </ul>	<p>（沖縄県交通政策課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基幹バス構想は、那覇～沖縄市間を結ぶ軸として、しっかりと取り組みを進めており、変更はない。</li> <li>北谷では、観光拠点（レンタカー等）としての取組が位置付けられたものである。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
<p>沖総局 運輸部 (代理) 金城係長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沖縄総合事務局の取組として、地域のステークホルダー、影響力のある方達を巻きこみ、沖縄の車に依存した社会の解決に向けて考えていくための会議として、沖縄交通リ・デザイン調査事業を実施している。</li> <li>・ 調査事業の方では、2本の大きな柱があり、一つがパブリックインボルブメント。もう一つの大きな柱として、実現検討会を立ち上げている。実現検討会では交通に関わる行政、事業者、その他金融機関、エネルギー関係の事業者、沖縄県の経営者協会からも参画している。</li> <li>・ 沖縄県の地域公共交通計画や、沖縄市の計画を後押しできるような内容も出てくると考えるため、是非連携をお願いしたい。</li> </ul>	
<p>イドムス 仲程委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スクランブル交差点が渋滞要因となっているが、結節点整備に併せて対策はされるのか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 別事業でも検討が進められている。国の方でバスタの効果を増やすためのデータが得られればスクランブル解消も考えられる。今後の検討において念頭に置きながら進めていきたい。</li> </ul>
<p>沖縄市 観光物産 振興協会 島袋委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沖縄南 IC の高速バス停について、廃止してバスターミナルに持ってくることは考えているのか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体の連携については今後の検討であると考えているが新たな路線等の可能性は検討していきたい。</li> <li>・ 沖縄南 IC バス停については、場所の変更を考えており、ネクスコ西日本とも調整を進めているところである。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
バス協会 慶田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 高速バスとの連携について、既存バスを入れることは難しいと考えるため、新規路線も視野に検討を進めてほしい。</li> <li>▪ 沖縄南 IC バス停については、ネクスコ西日本やバス事業者の利点を踏まえて進めてほしい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ネクスコ西日本が調整・研究しているため、方向性決まり次第協議をお願いしたい。</li> </ul>
池田 委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 長期的な視点で鉄軌道との連携も想定した方が良いのではないか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 鉄軌道のルート案では沖縄市も通過することから、将来的な視点は必要と考える。</li> </ul>